

評価のためのミニテスト

実務研修

⑥ケアマネジメントのプロセス

項目	問題(○×で解答)	解答欄	正答	評価(正答数)
①ケアマネジメントプロセスの構成と流れについて説明できる。	ケアマネジメントプロセスとは、ケアマネジメントという思考方法・思考回路を介護保険制度に応用したもので、一般的に居宅介護支援における業務の流れを指す。			
	プロセスは、「受付・初期面接相談」から始まり、「アセスメント」、「居宅サービス原案の作成」、「サービス担当者会議」を経て、原案が確定される。			
	ケアマネジメントプロセスは一度のプロセスで終了し、繰り返されることはない。			
②各プロセスの意義と目的について説明できる。	アセスメントは、利用者・家族と協働しながら現状の確認と分析を行い、利用者の解決すべき課題(ニーズ)の把握と、達成すべき目標の設定を行うことである。			
	居宅サービス計画原案作成の目的のひとつとして、利用者を主体としたケアプランの策定がある。			
	モニタリングの目的のひとつとして、新しいニーズが発生していないかの確認がある。			
③各プロセスの関連性を述べることことができる。	ケアマネジメントの各過程は、それぞれ独立しているため、重層的な展開はあり得ない。			
	受付・初期面接相談と、アセスメントはかなり重なる部分があり得る。			
	介護支援専門員は、居宅サービス計画に位置付けられたサービスの実施状況をモニタリングする必要がある。			
④ケアマネジメントプロセスの全体像について説明できる。	受付・初期面接場面では、受付相談票のようなシートを活用し、情報を整理することが大切である。			
	アセスメントでは現状の確認も大切であるが、課題の分析をしていながら生活ニーズの把握や解決のための目標を設定することが大切である。			
	ケアマネジメントの各過程は、必要に応じて介護支援専門員の判断で省略することが出来る。			
科目評価 (受講後評価)				<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 正答数: 12~10 → 科目評価: 3 正答数: 9~7 → 科目評価: 2 正答数: 6~4 → 科目評価: 1 正答数: 3~0 → 科目評価: 0 </div> (正答数計)